

都立晴海総合高等学校 令和4年度（教科名 公民 ）年間授業計画

教科：（公民）科目：（倫理） 対象：（第3学年）

使用教科書：『高等学校現代倫理新訂版』（清水書院）

使用教材：自作配布物ほか

	指導内容 【年間授業計画】	科目倫理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	神話から哲学へ 古代ギリシャの世界観の変容を捉え、自然と人間の関係を見つめさせる。	時代やポリスに関する基礎的事項を確認した上で、万物の根源を探究する世界観や哲学の祖とされる人物の考えを理解し、西洋思想の原初と位置づけて、哲学を学ぶ意義を導く。	神話的世界観から自然哲学への世界観の転換と、タレスらの思想について、適切な記述を選ぶことができる。考查	3
5月	ソクラテスの思想 ソフィストの登場を取り上げ、ソクラテスの説いた知と生き方を考察させる。	ソクラテスの時代に関する基礎的事項（民主制の発達とソフィストの働き、相対主義の問題点）を確認した上で、無知の知やよく生きることを中心に、ソクラテスが導いた結論をたどり、ソクラテスが投げかける問題について考えさせる。	ソクラテスの「無知の知」について簡単に説明することができる。ソクラテスの思想について、適切な記述を選ぶことができる。考查・課題	2
6月	プラトンのイデア論 理想主義的なあり方として、イデア論を取り上げ、概念や観念について理解させる。	概念として定義されるイデアを中心に、プラトンの展開する普遍的真理や主義を理解し、概念や知的な枠組みを現実における自身の活動として扱えるようにする。	プラトンのイデア論とその中で扱われる概念について、適切な記述を選ぶことができる。考查	4
6月	アリストテレスの思想 現実主義的なあり方として、四原因説を取り上げ、アリストテレスの考察や探究から哲学を理解させる。	アリストテレスによるプラトン批判を取り上げ、プラトンの立場を確認しながら比較し、アリストテレスの形相と質料の考察と四原因による人工物の製作や自然界の生成消滅を説明する原理を把握させる。	アリストテレスの思想について、適切な記述を選ぶことができる。考查	3
6月	キリスト教とユダヤ教 キリスト教の母胎となったユダヤ教の特色を理解させる。	ユダヤ教の思想をイスラエルの歴史とともに、根本となっている信仰、一神教の思想について理解させる。	ユダヤ教の根本となっている信仰や一神教の思想的特徴について、適切な記述を選ぶことができる。考查	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目倫理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
7月	キリスト教とイエスの思想 イエスの説く思想から世界宗教となったキリスト教について理解させる。	イエスの教えである神の愛と隣人愛を取り上げ、思想の中心と実践について理解させた上で、十字架刑後におけるキリスト教の成立とその後の展開について、教会の活動を中心に把握させる。	イエスの説いた愛の思想について、イエスの教えと実践を含めて適切な記述を選ぶことができる。キリスト教会の活動に関する基礎知識を問う設問に答えることができる。考查	4
7月	イスラーム イスラームの成立およびイスラーム世界の展開を概観させる。	キリスト教・ユダヤ教の特徴と対比しながら、イスラームの『クルアーン』に明示された教えを取り上げた上で、ムスリムの生活シャリーア（六信五行）を手がかりに、世俗と宗教について考えさせる。	イスラームの教えとムスリムの生活についての基礎知識を問う設問に答えることができる。考查	3
9月	古代インドの社会と思想、バラモン教、ヒンドゥー教 思想的な背景を概観するために、バラモン教の中心的な教義や古代インド社会を理解させる。	バラモン教とウパニシャッドを取り上げ、人間の苦や普遍的な不安に対する思想と実践である輪廻とその解脱を題材に、仏教成立以前の古代インドの思想を理解させる。	バラモン教やウパニシャッドについて、適切な記述を選ぶことができる。古代インドの思想における死生観について延べることができる。考查・課題	1
9月	仏教とガウタマの思想 縁起や八正道を中心に、仏陀の悟りと仏教の世界観を概観させる。	ガウタマの悟りに至るまでの過程と悟りの内容を取り上げ、その教えと生き方である仏教の世界観について理解させた上で、仏教のその後の展開について把握させる。	ガウタマの説いた教えについて、悟りにいたるまでの過程を含めて適切な記述を選ぶことができる。仏教の世界観とその展開に関する基礎知識を問う設問に答えることができる。考查	2
9月	中国思想と儒教 諸子百家の時代背景を踏まえ、孔子の説いた仁を中心に、儒家の思想を理解させる。	古代中国における諸子百家の時代について基本的事項を確認し、孔子の説いた仁や礼の思想、徳治主義を理解させるとともに、東アジア共通の道徳観や社会秩序に焦点を当て考察させる。	古代中国の諸子百家の時代に関する基礎知識と孔子の教えである仁と礼を問う設問に答えることができる。考查	1
10月	鎌倉新仏教の展開 日本に移入された仏教の変容について、新しい宗派を開いて、独自の思想を展開した日本の仏教について、浄土や禅を取り上げ、社会の変化と仏教のかかわりについて理解させる。	わが国の風土や自然観を概観した上で、歴史的な社会の変化とともに、仏教を取り上げ、修行した僧侶たちが取り組んだ課題、問い直した仏教のあり方について、考えさせる。	日本の仏教者が新たに宗派を開いて説いた教義内容について、基礎知識を問う設問に答えることができる。考查	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目倫理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	近代科学の世界観 宗教改革やルネサンスを経て成立する自然科学について、ベーコンやデカルトの思想を取り上げ、合理的精神を中心に理解させる。	近代科学出現の時代背景を確認した上で、ガリレイの観測と実験に基づく法則、ベーコンの帰納法的方法による経験論、デカルトの方法的懐疑から導かれた演繹法による合理論を中心に、論理や実証、真理の探究のあり方について考察させる。	近代科学の成立に貢献した人物たちに関する基礎知識を問う設問に答えることができる。科学の合理的精神、論理や実証法について、適切な記述を選ぶことができる。考查	3
11 月	カントの思想 カントが説いた人間の尊厳や道徳を中心に自律した人間について考察させる。	人間の認識とは自ら法則を制定する悟性の先天的能力による。カントの認識論の概念を取り上げ、人間の行為は自らの理性の道徳法則に従う自律的なものであること、人格の尊厳を中心に、思想的特徴を理解させたうえで、考察に取り組ませる。	カントの用いた人間の先天的能力の概念とカントの認識と道徳思想について、適切な記述を選ぶことができる。考查	4
11 月	自由と幸福 ヘーゲルの思想を取り上げ、自由と幸福、自己実現について、個人と全体との関わりについて考察させる。	カントの思想についての学習を踏まえ、ヘーゲルが用いた概念である、世界は絶対精神のあらわれで、歴史的発展は精神のはたらきであり、発展する思考の形式の弁証法を丁寧に取り上げ、自由や自己実現について思想的特徴を理解させたうえで、近代社会の考察に取り組ませる。	ヘーゲルの用いた概念（絶対精神、弁証法）とヘーゲルの思想（倫理と法、近代国家）について、適切な記述を選ぶことができる。考查	4
12 月	功利主義 資本主義の成立を踏まえて、功利主義を取り上げ、ベンサムやミルの思想について概観する。	人間にとっての幸福や快樂について、経済や政治の発展との関わりに留意しながら、ベンサムの功利の原理やミルの人間の質の高さを功利の原理とした社会形成の思想的特徴を理解させる。	ベンサムやミルの功利主義の思想的特徴について、適切な記述を選ぶことができる。考查	3
1 月	現代社会を生きる 実存主義や様々な正義論、社会主義を概観し、他者尊重や公共、理性の再考などについて現代社会を生きる人間のあり方について考える。	実存主義の人間の主体性回復を目指す思想的特徴を理解させるとともに、現代社会の不平等や経済的格差の課題を考察するために、公共や正義といったキーワードを取り上げて、人間が人間として生きるための1年間の学習を振り返りながら倫理の学習を総括する。	実存主義の思想的特徴について、適切な記述を選ぶことができる。現代社会を生きるための課題としてのキーワードを正しく理解し、用いて自分の考えを述べることができる。現代社会を生きる人間を考察する論点について、適切な記述を選ぶことができる。課題	4